

WEB会議小型スピーカーフォン 取扱説明書



この度は、WEB会議小型スピーカーフォン「MM-MC35」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しております。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①スピーカーフォン …… 1台
- ②USBケーブル …… 1本
- ③取扱説明書(本書) …… 1部
- ④保証書(※1) …… 1部

※パッケージに保証書ラベルを貼付けてあります。保証書ラベルをはがして、本書に貼って大切に保管してください。

※欠品や破損があった場合は、品番(MM-MC35)と上記の番号(①~④)と名称(USBケーブルなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

1.警告

警告 この表示事項を守らなかった場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険があります。

警告 <内部を開けないでください>

●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

<内部に異物を入れないでください>

●内部に燃えやすいものや、硬貨などの金属片が入った場合、水などの液体がかかった場合は、接続しているケーブルを抜き、お買い上げいただいた販売店又は弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

<接続ケーブルを傷つけないでください>

●ケーブルを傷つけたままご使用になりますと火災・感電の原因となります。

2.使用上の注意

- ケーブルやプラグに無理な力を加えないでください。破損や断線の恐れがあります。
- はじめから音量を上げすぎないでください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。
- ご使用になるときは、音量を大きくしすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間連続して聞くと聴力を損なう恐れがあります。
- 使用中に本製品を移動させないでください。

3.仕様

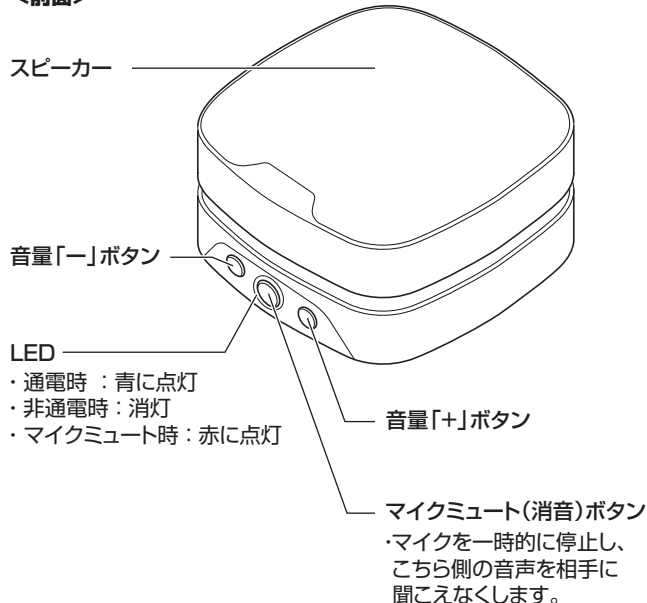
スピーカー部		マイクロホン部	
実用最大出力	2W(1W+1W)	指向性	無(全)指向性
周波数範囲	100~20,000Hz	入力感度	-32dB±3dB(OdB=1V/Pa,1KHz) -52dB±3dB(OdB=1V/ubar,1KHz)
インピーダンス	4Ω	周波数特性	300~6,000Hz
音圧レベル	86dB SPL at 0.5m	集音範囲	半径約5m/360°
※ご使用環境によっては、集音範囲が狭くなったり音質が悪くなることがあります。			
共通仕様			
消費電流	最大500mA(待機70~150mA)		
インターフェース	USB(USB2.0/1.1両対応)		
電源	USBポートより供給		
対応LANケーブル	CAT5e、CAT6、CAT6A、CAT6e、CAT7 (最大5mまで使用可能)		
対応OS	Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP、Mac OS X(10.4以降) ※Mac OSをお使いの場合は2台連結には対応しません。 ノイズが発生する恐れがあります。		
付属品	USBケーブル(約1.7m)、取扱説明書、保証書 ※連結用LANケーブルは同梱されていません。		

4.特長

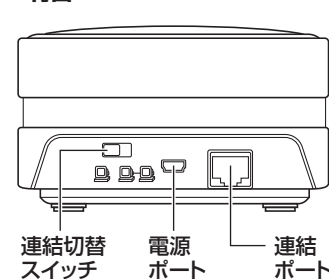
- ヘッドセットやスピーカーを使わずに手軽に多人数でのWEB会議が可能です。
- 広範囲(約5mまで)の集音が可能な高感度マイクユニットを採用しています。
- 2台まで連結可能で多人数の会議にも対応します。
- 優れたデジタル信号処理(DSP)によりノイズが少なくクリアな音声での通話が可能です。
- エコーキャンセル機能でクリアな音質で自然な会話を実現します。
- 2つのスピーカーユニット内蔵で音楽再生やプレゼンにも使用できます。
- USBバスパワー駆動なので、ACアダプタは不要です。
- 持ち運びに便利なコンパクトサイズです。

5.各部の名称とはたらき

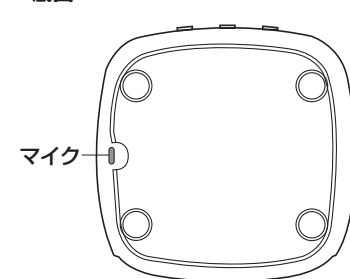
<前面>



<背面>



<底面>



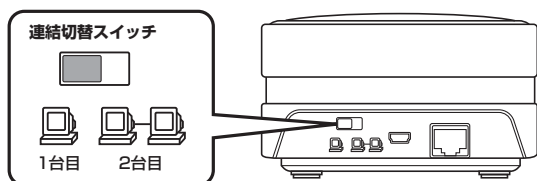
<USBケーブル>



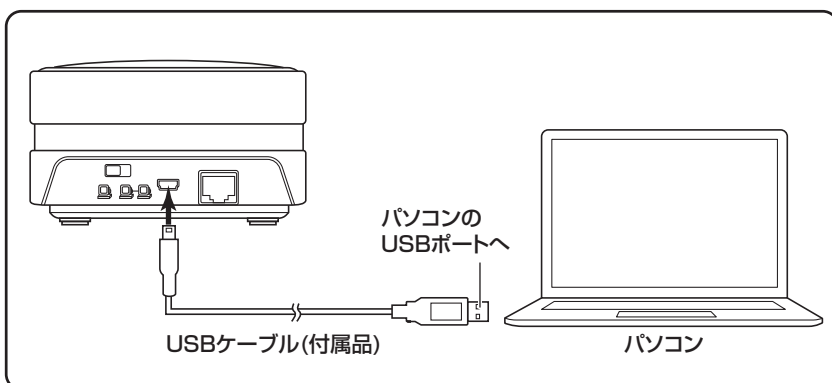
6. 接続方法

■ 本製品を1台で使う場合

- 1 本製品の接続切替スイッチを1台目にしてください。



- 2 本製品の電源ポートにUSBケーブルを接続します。



- 3 パソコンの電源を入れ、OSが完全に起動してからUSBポートに接続してください。接続をするだけで自動的にドライバがインストールされます。

- 4 本製品を使用できます。

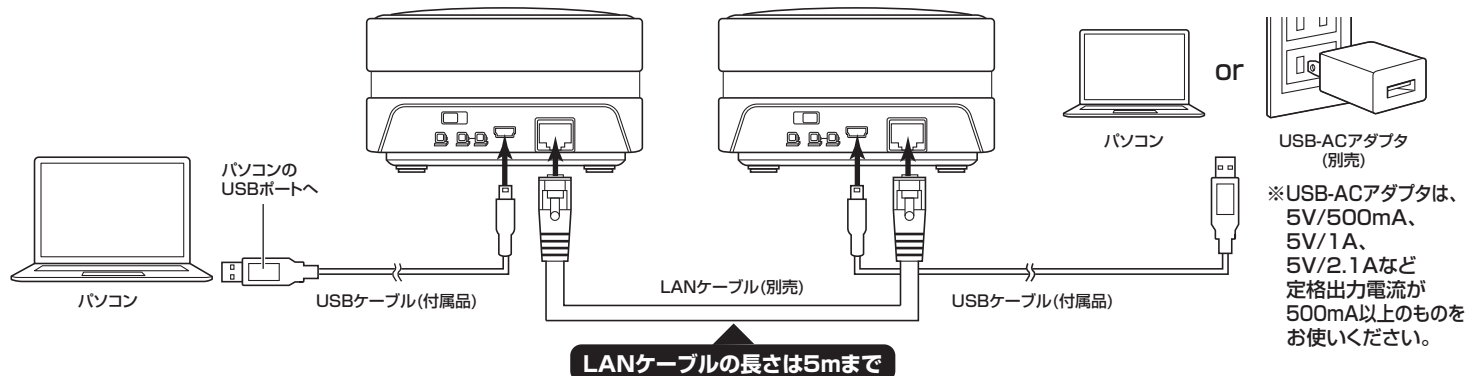
■ 本製品を2台で使う場合



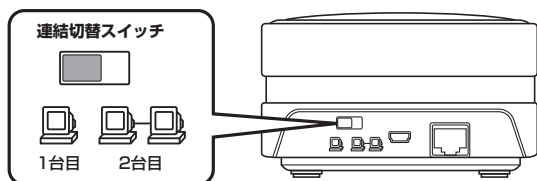
- 2台連結して使う場合、本製品(MM-MC35)を2台お買い求めください。
- 狭い部屋で2台連結して使うと雑音が入ります。その場合は1台でお使いください。
- 2台連結して使う場合、コントロールパネルの設定で「AGC」のチェックを外してください。ノイズが発生する恐れがあります。
- Mac OSをお使いの場合は2台連結には対応しません。ノイズが発生する恐れがあります。

<1台目>

<2台目>

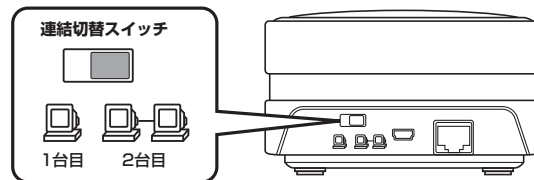


- 1 1台目の接続切替スイッチを1台目にしてください。



- 2 1台目の電源ポートにUSBケーブルを接続します。パソコンの電源を入れ、OSが完全に起動してからUSBポートに接続してください。接続をするだけで自動的にドライバがインストールされます。

- 3 2台目の接続切替スイッチを2台目にしてください。



- 4 2台をLANケーブルでつなぎます。
※LANケーブルは別途お買い求めください。
- 5 2台目を付属のUSBケーブルで給電します。パソコンまたはUSB-ACアダプタから給電してください。
※USB-ACアダプタは別途お買い求めください。
- 6 2台連結して使用できます。
※2台目のマイクミュートボタンは無効です。

7.OSの設定

※アプリケーションを作動中にコネクタを差し替えたり、設定を変えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再度起動してください。

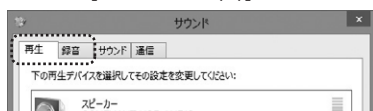
※使用するアプリケーションによっては、アプリケーション側で「オーディオデバイスの設定」をする必要があります。

Windows 10・8.1・8の場合


①カーソルを画面の左下隅に動かして右クリックし、メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。または、「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windowsシステムツール」を選択し、「コントロールパネル」の中の「ハードウェアとサウンド」をクリックします。

②「サウンド」をクリックします。

③「再生」と「録音」タブの中のリストからそれぞれ「CONEXANT USB AUDIO」を選択し、「既定値に設定(S)」をクリックします。



選択したサウンドデバイスに  が付きます。

※既に  がついている場合もあります。

※この時、右下の「プロパティ」をクリックし、それぞれの「レベル」タブを開いて、レベルが0になっていないかも確認してください。



④「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了します。



Windows 7・Vistaの場合


①「スタート」ボタンから「コントロールパネル」をクリックします。

②「サウンド」をクリックします。

③「再生」と「録音」タブの中のリストからそれぞれ「CONEXANT USB AUDIO」を選択し、「既定値に設定(S)」をクリックします。



選択したサウンドデバイスに  が付きます。

※既に  がついている場合もあります。

※この時、右下の「プロパティ」をクリックし、それぞれの「レベル」タブを開いて、レベルが0になっていないかも確認してください。



④「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了します。



Windows XPの場合

①「スタート」ボタンから「コントロールパネル」をクリックします。

②「サウンドとオーディオ デバイス」をクリックします。

③「オーディオ」タブをクリックします。

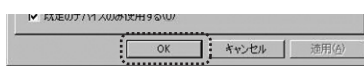


④「音の再生」と「録音」の「既定のデバイス」からそれぞれ「CONEXANT USB AUDIO」を選択します。

※この時、それぞれの「音量(V)」[音量(Q)]をクリックして、音量とミュート(消音)にチェックが入っていないかも確認してください。



⑤「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了します。



Mac OS Xの場合

①アップルメニューから「システム環境設定」をクリックします。



②「サウンド」をクリックします。



③「出力」と「入力」のリストの中から、それぞれ「CONEXANT USB AUDIO」を選択します。

※この時、それぞれの「音量」と「消音」にチェックが入っていないかも確認してください。



④左上の  をクリックし、サウンドのプロパティを終了します。

8.【例】Skypeの設定(Windows)

①Skypeのメイン画面で、「ツール」メニューから「設定」をクリックします。

②「オーディオ設定」をクリックします。

③Skypeで使用するマイクとスピーカーを本製品にするために、

①「マイク」から「CONEXANT USB AUDIO」を選択します。

②「スピーカー」から「CONEXANT USB AUDIO」を選択します。

④Skypeの呼び出し音(着信音)を設定します。

⑤「保存」をクリックします。

これでSkypeの設定は完了です。

9.トラブルシューティング

Q1)USBハブに接続できますか？

A1)本製品を接続する際にはパソコン本体のUSBポートに直接接続してください。

Q2) 本製品を接続しているのに本製品から音が出ずに「パソコン本体のスピーカー」から音が出る。または、音声入力ができない。

A2)パソコンの設定で優先されるスピーカーに「パソコン本体のスピーカー」が設定され、マイクについても別のデバイスが設定されています。「7.OSの設定」を参考に本製品を優先するよう設定変更してください。

Q3)本製品を接続したままパソコンのスピーカーで音楽を聴こうとすると本製品から音が出る。

A3)「7.OSの設定」を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定してください。または、ケーブルをパソコンから抜いてください。自動的に切替わります。
※アプリケーションを作動中にコネクタを差し替えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再度起動してください。

Q4)Skype通話の音声は本製品から、音楽はパソコン本体のスピーカーから再生させたい。

A4)「7.OSの設定」を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定します。また、Skypeの「ツール」→「設定」→「オーディオ設定」→「スピーカー」を「CONEXANT USB AUDIO」に設定します。

Q5)Skype通話時に、マイクの音量が小さい。

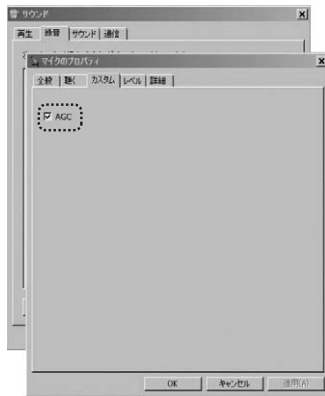
A5)Skypeの「ツール」→「設定」→「オーディオ設定」の「 マイク設定を自動調整」のチェックを外して音量を調整してください。

Q6)マイクの音量が小さい。

A6)パソコンの種類や初期設定によってはマイクの音量が小さい場合があります。その場合は、マイクの音量調整と「AGC」の設定をしてください。
※2台連結した場合は「AGC」のチェックを外してください。ノイズが発生する恐れがあります。

例)Windows 10・8.1・8・7・Vista・XPの場合

- ①「スタート」ボタンから「コントロールパネル」をクリックします。
※Windows 8以降の場合はカーソルを画面左下隅に動かして右クリックし、メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。または、「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windowsシステムツール」を選択し、「コントロールパネル」の中の「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
- ②「サウンド」をクリックします。
- ③「録音」タブをクリックし、「CONEXANT USB AUDIO」をダブルクリックして「マイクのプロパティ」を表示します。
- ④「レベル」タブをクリックします。
- ⑤「マイク」の音量バーをスライドさせて80～90に設定します。
※この時「 ミュート(消音)」になっている場合は解除してください。
※この音量を大きくするだけで十分な場合は、⑥からの設定は不要です。
- ⑥上記同様に「録音」タブをクリックし、「CONEXANT USB AUDIO」をダブルクリックして「マイクのプロパティ」を表示します。
- ⑦「カスタム」タブをクリックして、「AGC」にチェックを入れ「OK」をクリックします。
※音量が大きすぎる場合には⑤の音量バーを最適なレベルに調整してください。
- ⑧「OK」をクリックして、コントロールパネルを終了します。



Q7) 2台連結して使用中に「ゴー」というノイズが発生する。

A7) A6を参考に「AGC」のチェックを外してください。

Q8) 環境ノイズが入る。

A8) 相手にこちらの環境ノイズが聞こえる場合は、本製品を雑音源(パソコンやプロジェクターの放熱ファン、クーラーの下)から離して設置してください。

Q9) ノイズがひどい。

A9) 狭い部屋で2台連結して使うとエコーやハウリング等でノイズが入ります。その場合は1台でお使いください。

10.保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - ①保証書をご提示いただけない場合。
 - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ③故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - ⑥譲渡や中古販売・オークション転売などでご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書ラベル貼付欄

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

最新の情報はWEBサイトで!! <https://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- Q&A(よくある質問)
- ソフトダウンロード
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから



▼サポートページへ



ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.2

岡山サブライセンター/〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター/〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区権ヶ岡1-6-37 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区権町16-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-20 第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078
BI/AH/NSDA/No